

■「効果の見える治水事業」

愛媛県 ^{たていわ}立岩海岸環境整備事業

『立岩海岸—海岸を核とした交流拠点の創出』

愛媛県中予地方局建設部長 ^{みよし つぎお}三好 次男



■事業の概要

立岩海岸は、高縄半島の西部、伊予灘に面し前方に「鹿島(かしま)」を望む風光明媚な海岸です。

当海岸は「波妻(はづま)の鼻」と呼ばれる景勝地であることから、この付近一帯を「リフレッシュパーク」として位置付けており、県内屈指の海水浴場として利用されている海浜を中心に、海岸背後に複合運動施設である「北条スポーツセンター」や「道の駅風和里(ふわり)」が整備され、併せて地場産品を活用したレストランや道路情報端末室、休憩室なども設置されており、人々の交流や地域の情報発信の場となっています。これらの周辺整備と一体となって、一層の海浜利用が増大され、より安全で良好な海岸空間となることを期待しております。

現在は安全で賑わいを見せる当海岸も、以前は汀線の後退により、台風の高波による歩行者の死亡事故や国道の通行止めなどが発生しており、被災すれば当該地域の生活にあたる影響は重大なもので、緊急に対策が必要な状況でありました。そこで、海岸環境整備事業により、周辺施設と一体となった海浜利用の促進や自然環境を考慮した越波対策を実施し、海洋スポーツ・レクリエーション交流空間の整備を図ることとしたものです。

事業実施においては、砂浜浸食の進行した区間では、養浜を実施することにより高波からの防護を行うと共に海水浴が可能な構造とし、事前の生態系調査により愛媛県レッドデータブックで準絶滅危惧種に指定されている希少生物(ナメクジウオ)が確認された区間周辺の護岸は、生息環境に影響の少ない直立消波ブロック構造となっています。

【事業概要】

事業名	海岸環境整備事業
事業期間	H11～H16
延長	L=670m
離岸堤	2基
突堤	1基165m
養浜	6.5ha
護岸	670m

位置図



立岩海岸

利用状況(海浜)



利用状況(道の駅)



整備後の状況(全景)



■立岩海岸と道の駅「風早の郷 風和里」

松山市長 ^{なかむら ときひろ}中村 時広



当市は、愛媛県の中央部、松山平野にあり、東は西日本の最高峰石鎚山を擁する四国山地を背景とし、西は波静かな国立公園瀬戸内海を望み、北部の瀬戸内海に浮かぶ中島から高縄山系のすそ野の平野を経て、重信川と石手川により形成され松山平野と広がっており、市の南側には東西に走る中央構造線上に道後温泉が湧出しています。

平成17年1月1日に松山市に編入された北条地区は、美しい瀬戸内の海、白い砂浜が続く海岸線、高縄山、田園地帯など、豊かな自然に恵まれ、かつては、瀬戸内海にその名をはせた河野一族の本拠地でもありました。また、温暖な気候の中で育った新鮮な農産物、瀬戸内の潮流でもまれた魚介類が豊富であり、加えて、歴史散策、句碑めぐり、マリンスポーツ、森林浴など、自然を生かしたスポットも数多くあります。

このように恵まれた自然の中に位置する道の駅「風早の郷 風和里」は、市と国土交通省の連携により整備し、平成14年8月13日に、国土交通省道路局長により「道の駅」に登録され、平成15年3月22日にオープンしました。

「風早の郷 風和里」は、地場産品の販売及び地域の情報交流の場を提供することにより情報発信拠点の形成を図り、あわせて地域コミュニティの交流を深めることを目的として建設したもので、北条地域の農業生産者等で構成された風早の郷ふわり協同組合により、地元に着した効率的な運営が図られています。ふれあい広場での、取れたての新鮮な野菜や魚介類をはじめ特産品、漬け物や惣菜類などの販売や、駅舎にある地元の食材をふんだんに取り入れたレストランが、風和里の魅力となっています。

この地域が「スポーツ・レクリエーション促進エリア」として位置付けられている中で、今後も引き続き、道の駅風和里の魅力を高めるとともに、年間を通して幅広い客層の方々に利用していただくため、海岸においてビーチバレーやビーチサッカーなどのスポーツイベントを開催するなど、道の駅と立岩海岸が一体となった、地域の拠点づくりを進めてまいりたいと考えています。



立岩海岸(通称:長浜海岸)

風和里4周年イベント

ビーチバレー大会